

判例評釈を探す

🏠 インターネット

「CiNii Research」(国立情報学研究所)

(<https://ci.nii.ac.jp>)

日本の論文のデータベース。掲載されている雑誌を調べることができる。本文を読むことのできる論文もある。キーワード検索のほか、論文名、著者名、雑誌名などで検索することができる。

📖 オンラインデータベース (館内)

「D1-Law 法情報総合データベース」(第一法規)

「判例秘書 INTERNET」(LIC)

判例本文とあわせて判例評釈が掲載されている雑誌を調べることができる。雑誌の記事本文を見ることができるものもある。

📄 印刷資料

『最高裁判所判例解説 民事篇』『同 刑事篇』

(略語：最判解民[刑]事) 法曹会

『別冊ジュリスト』『〇〇法判例百選』

(略語：百選) 有斐閣

『ジュリスト』臨時増刊「〇年度重要判例解説」

(略語：重判解) 有斐閣

法律情報サービスのご利用について

- ・資料や情報の提供のみを行うサービスです。法律上の相談やアドバイスはいたしません。
- ・オンラインデータベースは1階フロア案内でお申込みください。
- ・ほかの調べ方は、1階「総合案内・相談カウンター」でお尋ねください。

東京都立中央図書館

東京都港区南麻布 5-7-13

☎ 03-3442-8451 (代)



東京都立中央図書館

法律情報の調べ方 2

判例

判決文を探す
判例評釈を探す

2022.09 改訂

判決文を探す

『裁判所データブック』によると、1年間に受け付けた訴訟事件は、民事・行政事件で約150万件、刑事事件で約100万件(全裁判所の新受全事件数)。このうち、**判例として公表されるのは、訴訟事件全体の一部のみ(1%以下)**。のちの裁判の際に先例となると考えられる重要な判決が、判例として公表される。

このため、**判例は見つからない場合もある**ことを念頭に置いて調査する必要がある。

🏠 インターネット

「裁判例情報」(裁判所)

トップページ > 裁判例検索

(https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1)

判例中の用語や事件番号、裁判年月日等から検索し、全文を見られる。最高裁判所、下級裁判所(高等裁判所・地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所)、知的財産高等裁判所等の判例がそれぞれ掲載される。最高裁判所、高等裁判所の判例は1947(昭和22)年から収録。速報性が最も高く、判決翌日に全文が掲載されることがある。

英語版「**Judgments of the Supreme Court**」では、最高裁判例の英訳を、英語で検索可能(掲載にはタイムラグがある)。

📄 オンラインデータベース(館内)

以下のデータベースは、いずれも判例の出典や解説、評釈等の文献情報を掲載している。戦前の大審院(現在の最高裁判所)の判例から収録しており、概ね明治時代後半から現在までの判例を検索し、全文を見ることができる。要旨(判例の要点をまとめたもの)がついている判例も多く、特定のテーマやキーワードで調査する場合に便利。判例が収録されるまでの期間は、データベースにより異なる。

「**D1-Law 法情報総合データベース**」(第一法規) 図書、雑誌、研究紀要等に掲載された記事の本文を見ることができる。判決後数日で全文が掲載されることがある(「裁判所」のホームページへのリンク等)。

「判例秘書 INTERNET」(LIC)

『判例タイムズ』『ジュリスト』など、判例解説や評釈を多数掲載する雑誌の記事本文を見ることができる。

※各データベースの独自収集の判例もあるため、網羅的に判例を調査したい場合は、複数のデータベースを検索するとよい。

📄 印刷資料

1階法律情報コーナーに、判例集や主要な法律雑誌の最新3冊を配架。その他は書庫に所蔵。

📄 雑誌

・主な判例掲載雑誌

『**裁判所時報**』(略語:裁時) 法曹会[ほか]
最高裁の重要判例全文を約2週間~1ヶ月後に掲載。

・その他の判例掲載雑誌

判決の約3~6ヶ月後に掲載。判例全文ではなく要旨のみのこともある。解説・評釈が掲載される場合がある。

『**判例時報**』(略称:判時) 判例時報社

『**判例タイムズ**』(略称:判タ) 判例タイムズ社

📄 判例集

判決から掲載まで半年以上かかる。

『**最高裁判所判例集**』判例調査会
民事と刑事を分割して所蔵している。

『**最高裁判所民事判例集**』(略称:民集)

『**最高裁判所刑事判例集**』(略称:刑集)